



とみぐすくし 豊見城市しまくとうば読本



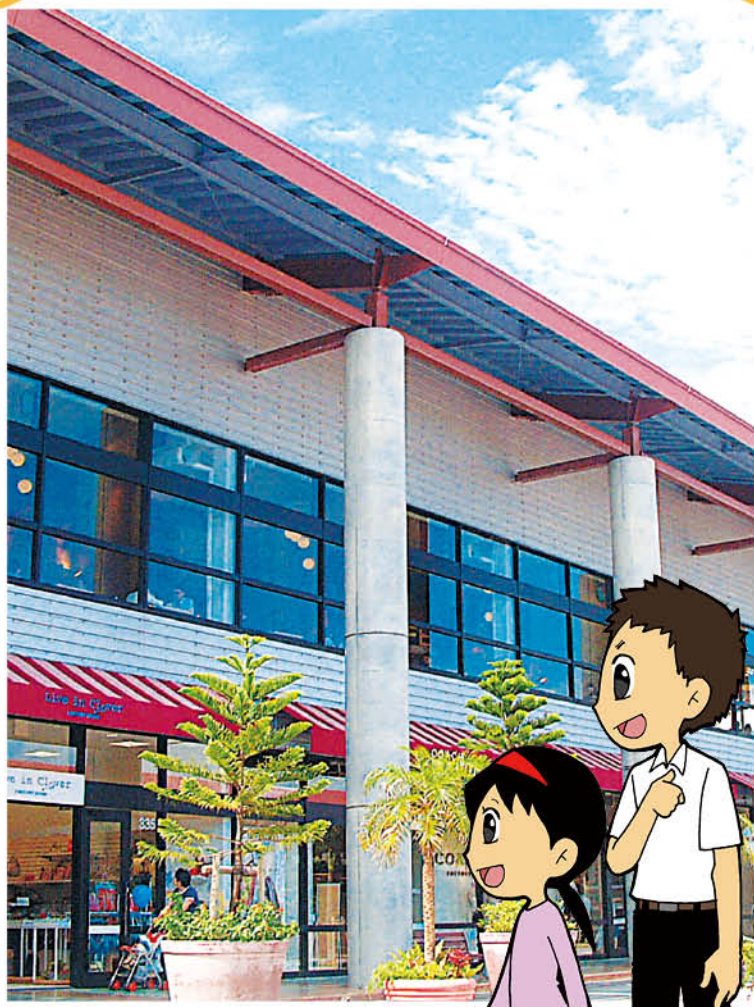
わったー たからむん ていみぐすく くとうば

～つたえよう わたしたちのたからもの 豊見城ことば～

てい がく ねん よう
低学年用



とみぐすくし
豊見城市



～つたえよう わたしたちのたからもの
とみぐすく
豊見城ことば～

わったーたからむん

ていみぐすく

くとうば

とみぐすくし

豊見城市



この本をつかうにあたって

本書「豊見城しまくとうば読本」は、豊見城市でつかわれていた「しまくとうば」を多くのみなさんに知ってもらい、大切なことばをのこしていくためにつくられたものです。

今回、本書を作るために豊見城市の5つの地いきのみなさんに聞きとりちょうさを行いました。豊見城市には24の地いきがありますが、そのなかから豊見城（どうーむら）、翁長（うなが）、我那覇（がなは）、根差部（みさしっぶ）、饒波（ぬーふあ）の地いきで、それぞれ4～5回の聞きとりちょうさを行っています。

本書では、字豊見城のことばを中心にあつかっています。それでも、地いきによって「ことば」や「言い方」がちがうものもありますので、そのちがいのものをせるようにしました。また、ちょうさで聞きとりをした「ことば」をのせていますが、人によっても言い方がちがうところもありましたので、日ごろよくつかう言い方を教えていただき、それを中心にのせています。

ちょうさを進めていく中で、同じ豊見城市でも地いきによって「ことば」や「言い方」、「イントネーション」のちがいを知ることができました。また、同じ地いきでも家ていかんきょうや、年のちがいによっても、「言い方」がちがう場合もあることが分かりました。

今回のちょうさは、主に70～90才だいのみなさまにきょう力してもらいましたが、30年前の人がつかっていた「ことば」とはちがっている語もありました。本書では、きほんてきに聞きとりをした「ことば」をのせていますが、未来にぜひのこしておきたい大切な「ことば」もありましたので、そのときは1986年に行われたちょうさをさん考にとりあげることになっています。たとえば、「おじいさん」のことを小さい時から「おじい」としかよばなかったという地いきもありましたが、1986年のちょうさでは、「んめー」となっていたので、その「ことば」をのせています。

今回、聞きとりちょうさを行うにあたり、その地いきで生まれそだった人から聞きとりをするようにしました。しかし、豊見城市にもいろいろな地いきからうつりすんできた方やほかの県で長く生活していた方もいますので、かならずしも本書であつかう「ことば」が正しいということではありません。「しまくとうば」にもいろいろな「ことば」があることをご理かいください。

それぞれの地いきで「しまくとうば」の聞きとりをしていると、その時だいの生活や風けいが目の前にうかんでくるようでした。地いきではぐくまれてきた「ことば」には、その地いきの文化や生活がのこされています。わたしたちの祖先がつかってきた「ことば」を、そのれきしや文化とともに、これからも大事にしていきたいものです。

◆「しまくとうば」のひょう記^きについて

「しまくとうば」のひょう記^きについては、共通語^{きょうつう ご}とことなる発音^{はつおん}がいくつかありますので、けんきゅうする人や本^{ほん}によってもさまざまな方^{ほう}が用いられています。しかし、本書^{ほんしょ}では小・中学生^{しょうがくせい}が活用^{かつよう}することを考えて、下^{した}の方^{ほう}でひょう記^きをどういつしています。

- 1, ワ行^{ぎやう}：「う」を^{はつおん}発音する口の形^{くち かたち}から、「い」を^{はつおん}発音する音^{おと}→「**うい**」 れい)「**ういきが**」(男^{おとこ})
- 2, ワ行^{ぎやう}：のど^{のど}のおく^{ちから}に力^{ちから}を入れて、きんちょうさせながら^{はつおん}発音する「わ」→「**うわ**」 れい)「**うわー**」(ブタ)
- 3, ゆっくりはじまる「ん」の音^{おと}→「**ん**」 れい)「**んに**」(むね)
- 4, ゆっくりとはじまる「う」の音^{おと}→「**うう**」 れい)「**ううとう**」(おっと)

このように「しまくとうば」には、どくどくの発音^{はつおん}があります。さいしょは、分^わかりにくかもしれませんが、「音声^{おんせい} CD^{シーディー}」を聞きながら^きかくにんしてみましよう。

◆言い方^{い かた}や発音^{はつおん}のちがいについて

本書^{ほんしょ}では、聞きとり^きちょうさをした「ことば」や「言い方^{い かた}」を中心^{ちゅうしん}にあつかっています。しかし、本書^{ほんしょ}であつかっている「言い方^{い かた}」が全て^{すべ}正しいということではありません。「言い方^{い かた}」は、地いき^ちさだけではなく、年^{ねん}だいや家^かていかんきょうによる個人^{こじん}さもあると考えています。

れい)「わたしの名前^{なまえ}は」をあらわすことば：「**わん なーや**」「**わん のーじえー**」

「家^かぞく」をあらわすことば：「**やーにんじゅ**」「**やーぐなー**」

「はやい」をあらわすことば：「**へーく**」「**ふえーく**」

「しまくとうば」にもいろいろな言い方^{い かた}があります。上記^{じょうき}の語^ごのように、どちらもよくつかわれることばですが、人^{ひと}によって言い方^{い かた}がちがう場合^{ばあい}もあります。自分^{じぶん}たちのまわりでは、どんな「ことば」がつかわれているのか、しらべてみましょう。

◆地いきによる「しまくとうば」のとくちょうについて

地いき^ちごとの「しまくとうば」のとくちょうとしては、こん虫^{ちゅうめい}名^なやしよくぶつ名^{めい}によくあらわれているようにかんじました。しかし、それでも20～30年前^{ねんまえ}のちょうさは、ちがう語^ごもいくつか見^みうけられますので、全て^{すべ}がその地いきとくゆうの「ことば」ではないと思われます。

ほかに、「あのね」をあらわすことばとして、豊見城^{とみぎ}では「**あめえいへー**」、根差部^{ねさぶ}では「**あぬやん**」と表現^{ひょうげん}するようなどくちょう的なことばもあります。翁長^{おなが}でも、「そうだね」を「**やんどーわー**」と、語^ごの後^{うし}ろに「**どーわー**」をつける、どくどくなことばもあります。地いきによる「ことば」のちがいもしらべてみるといいですね。

1, 豊見 ^{とみぐし} 城市 ^{ちめい} の地名……………	6	
2, 生きものや草花 ^{くさばな} の名前 ^{なまえ} を「しまくとうば」でしらべよう……	8	
3, どんなあそびをしていたのかな?……………	14	
4, 身体 ^{からだ} をあらわすことば……………	18	
どうーてー いーぬ くとうば		
5, 豊見城 ^{とみぐし} のことばはおもしろい……………	20	
ていみぐすくぬ くとうばや うーむっさん		
6, わたし ^か の家ぞく……………	22	
7, 朝 ^{あさ} ごはんは食 ^た べた?……………	24	
ひていみていむのー かりー?		
8, きょうもがんばって学校 ^{がっこう} へ行きなさい……………	28	
ちゅーん ちばやーに がっこーけー いくわ		
9, きょうのきゅう食 ^{しょく} は、何 ^{なに} がで ^で るかな……………	30	
ちゅーぬ きゅうしょこー ぬーぬ んじーがやー		
10, あいさつのことば……………	32	
えーさちぬ くとうば		
11, きょうも一日 ^{いちにち} , 楽 ^{たの} しかったね……………	34	
ちゅーん ひっちー いーるきさたんやー		
12, お店 ^{みせ} に買 ^か いものに行 ^い く……………	38	
まちやぐわーんけー こーいむんしーが いちゅん		
13, 「沖縄アウトレットモール・あしびなー」へ 八重山 ^{やえやま} のいところをつれて行 ^い った……………	40	
アウトレットけー ええーまぬ いちゅく そーてい んじゃん		
14, 漫湖水鳥 ^{まんこみずどり} ・しっ地 ^ち センターへ行 ^い く……………	42	
漫湖水鳥^{まんこみずどり}・しっちセンターんけー いちゅん		

15, 明日^{あした}はうんどう会^{かい}, いい天気^{てんき}になるといいな…………… 44

あちゃーや うんどーくわい,
いー うわーちち なれーやー



16, 豊崎^{とよさき}にじ公園^{こうえん}へ宮崎県^{みやざきけん}の友だち^{とも}をあん内^{ない}する…………… 46

豊崎^{とよさき}にじ公園^{こうえん}けー 宮崎県^{みやざきけん}ぬ
るしんちゃー うんちけーすん



17, 豊崎^{とよさき}のビーチで, 高知県^{こうちけん}の友だち^{とも}とおよぎ^いに行く…………… 47

豊崎^{とよさき}ぬ ビーチうてい 高知県^{こうちけん}ぬ
るしんちゃーとう いーじーが いちゅん



18, 豊見城^{とみぎらく}のゆう名^{めい}な場^ばしょをしらべてみよう…………… 48

ていみぐすくぬ なーうっちょーる とうくま
しらびていんだな

真玉橋^{まだんばし} (48)

豊崎^{とよさき} (50)

瀬長島^{せながじま} (51)

19, サトウキビのことをしらべよう…………… 52

うーじぬ くとう しらびていんだな



20, 豊見城^{とみぎらく}のおまつりはおもしろい…………… 54

ていみぐすくぬ ひちびぐとうや うーむっさん

21, 豊見城^{とみぎらく}ののう作^{さく}もつ…………… 56

ていみぐすくぬ ちゅくいむじゅくい

22, ジョン万次郎^{まんじろう}もの語^{がたり}…………… 58

ジョンまんじろー ぬむがたい



23, しらべてみよう, わたしたちの「しまくとうば」… 64

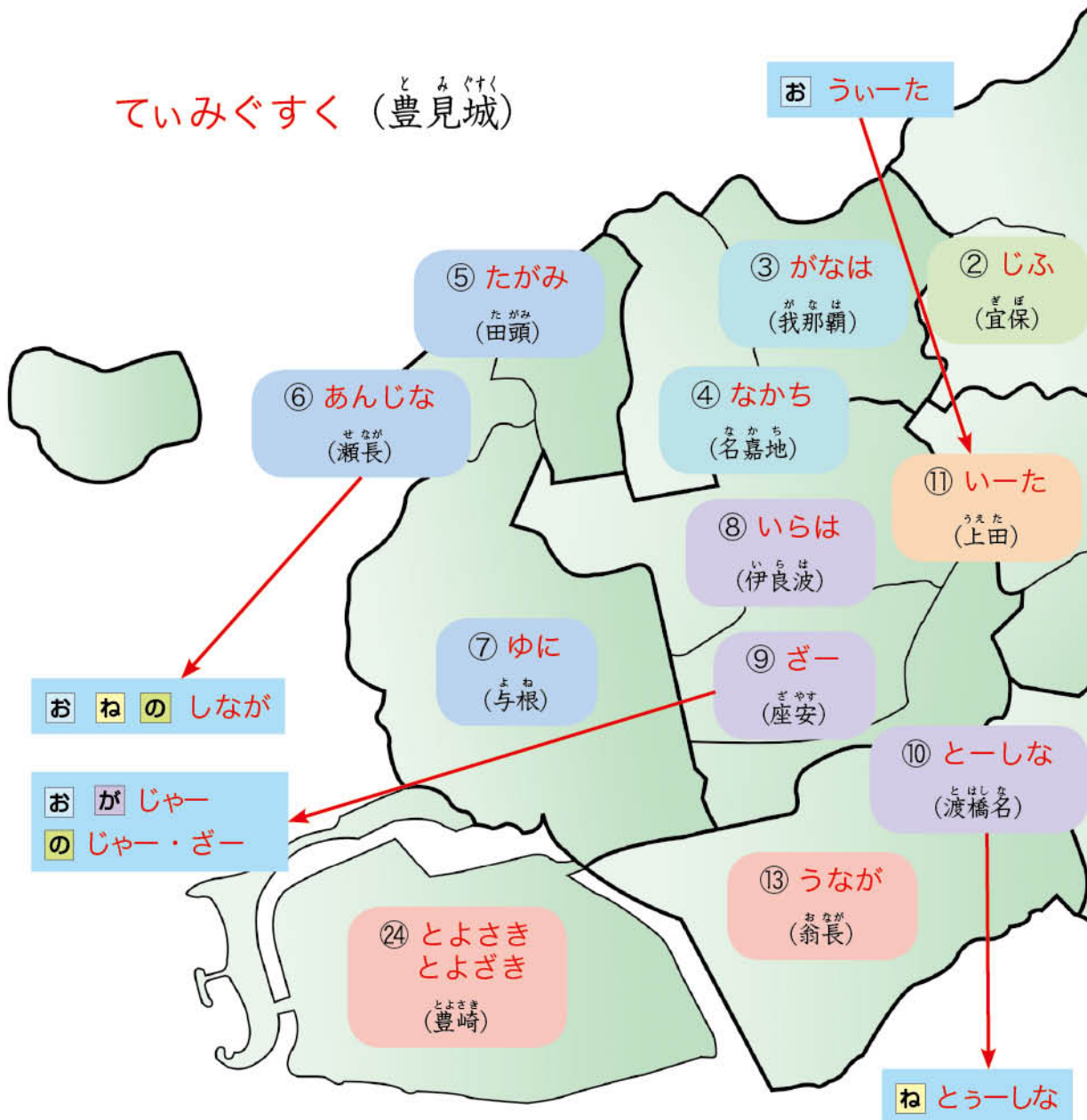
しらんびていんだな, わったー しまくとうば

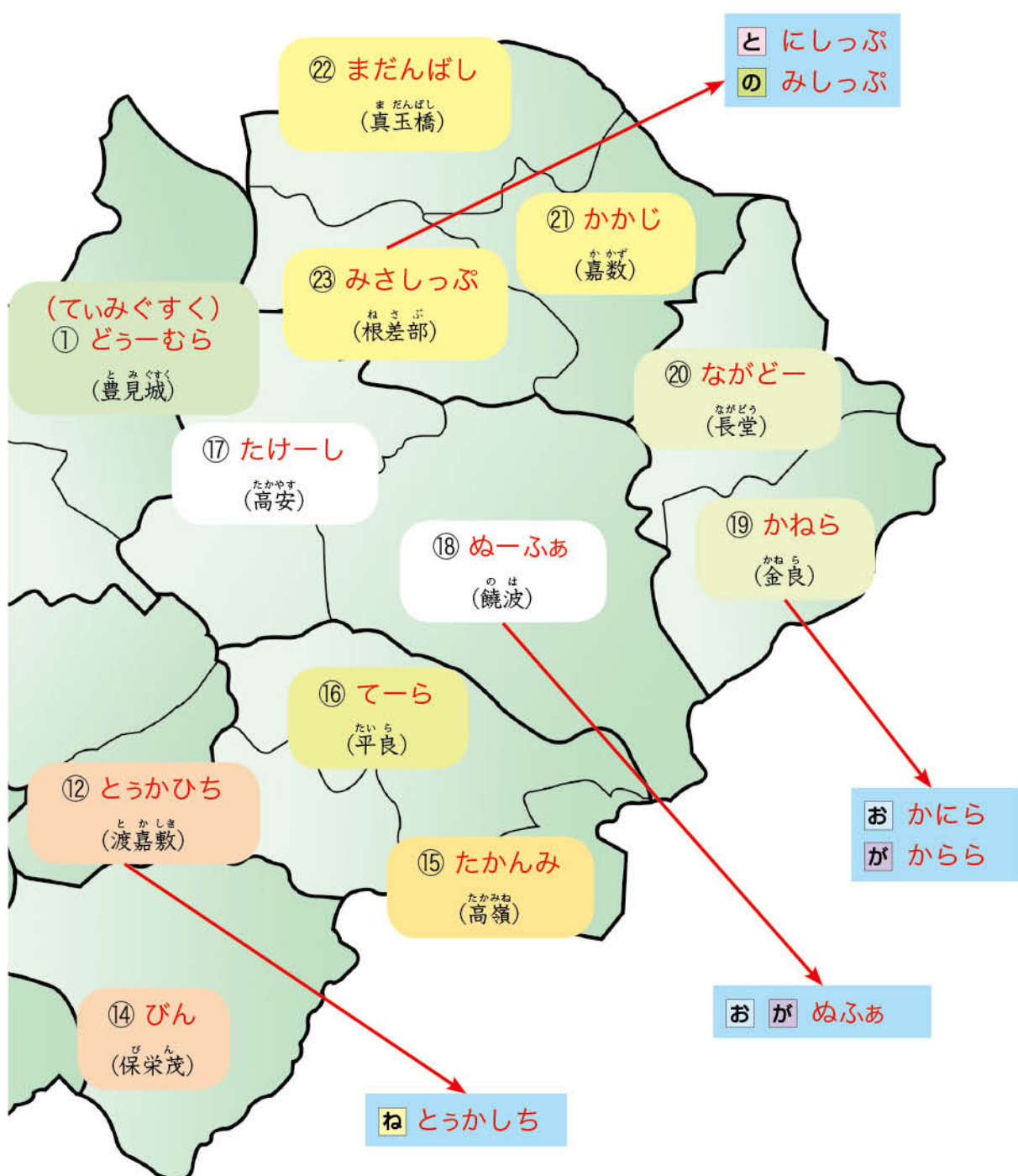
24, この本^{ほん}に出^でてきた「しまくとうば」…………… 67

とみぐすし ちめい 豊見城市の地名

豊見城市には24の地いき（字）があります。その地いきをしまくとぅばでは、どのようによんでいるのでしょうか。

ていみぐすく（豊見城）





この本では、豊見城（^{と みぐすく}どうーむら）のことばを赤色の文字であらわしています。
 ほかの4つの地いきで言い方がちがうことばは、下のようにあらわしました。
 豊見城ことば→と 翁長ことば→お 我那覇ことば→が 根差部ことば→ね
 饒波ことば→の

生きものや草花の名前を 「しまくとぅば」でしらべよう

豊見城市で、かんさつできる生きものや草花の名前を、どのようによんでいるのでしょうか。地いきごとにしらべてみました。

①：地いき ②：名前（よび名） ③：鳴き声

クロイワニイニイ

※夏のはじまりを知らせる、1年で1番さいしょに鳴くセミ。



①：翁長
②：ひみちーぐわー
③：じーじーじー

①：我那覇
②：しーみーぐわー
③：じーじーじー

①：根差部
②：しーみー
③：じーじー

①：豊見城
②：しーみー
③：しーみーしーみー

①：饒波
②：しーみーぐわー
③：じーじーじー

リュウキュウアブラゼミ

※2番目に鳴くセミ。



①：翁長
②：なーびかちかちー
③：なーびかちかちー

①：我那覇
②：あしー
③：なーびかちかちー

①：根差部
②：なーびかちかちー
③：なーびかちかちー

①：豊見城
②：なーびかちかちー
③：かちかちー

①：饒波
②：なーびかちー
③：なーびかちかちー

クマゼミ

※最も鳴き声がひびくセミで、ま夏をかんじる。



①：翁長
②：あしわー
③：さーさー

①：我那覇
②：くがにー
③：さいさいさい

①：根差部
②：さんさなー
③：さいさいさい

①：豊見城
②：まーせいせい
③：せいせいせい

①：饒波
②：なーまー
③：さいさいー

クロイワツクツク

※夏の終わり(秋)を知らせる4番目に鳴くセミ。



①：翁長
②：じーわー
③：じーわじーわ

①：我那覇
②：じーわ
③：じーわじーわ

①：根差部
②：じーわ
③：じーわじーわ

①：豊見城
②：しーわ
③：しーわしーわ

①：饒波
②：しーわーぐわー
③：じーわじーわ

リュウキュウツヤハナムグリ(カナブン)



①：翁長
②：かにぐわーぶーぶー

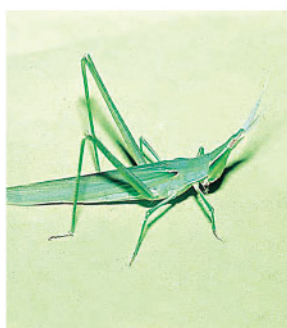
①：我那覇
②：かにくんばー

①：根差部
②：かにぶーなー

①：豊見城
②：かーみーぐんばー

①：饒波
②：かにぶーなー

バッタ



①：翁長
②：しえーぐわー

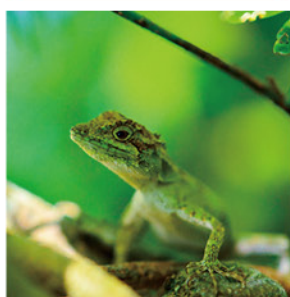
①：我那覇
②：まーじえー

①：根差部
②：しえーぐわー

①：豊見城
②：まーじえー

①：饒波
②：せーぐわー

キノボリトカゲ



①：翁長
②：わーとーやー

①：我那覇
②：くーすー

①：根差部
②：わーとーにー

①：豊見城
②：くーすーかーまー

①：饒波
②：かくじゃー

アオカナヘビ



①：翁長
②：わーじゅーぐわー

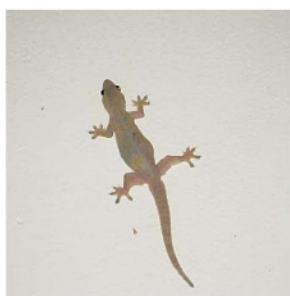
①：我那覇
②：ながじゅー

①：根差部
②：じゅーみーはーめー

①：豊見城
②：えんだーじゅー

①：饒波
②：はーめーじゅー

ヤモリ



①：翁長
②：そーじまやー

①：我那覇
②：そーじむやー

①：根差部
②：やーるー

①：豊見城
②：やーどー

①：饒波
②：やーるー

カマキリ



①：翁長
②：とーとー

①：我那覇
②：そーろーぱーちー

①：根差部
②：いさとー

①：豊見城
②：いさとー

①：饒波
②：いさとー

そのほかの生きもの

チョウ：はーべーるー

トンボ：あーけーじゅー

お あーけーじゅー・ちんたまー クモ：くーぱー

カタツムリ：ちんなん

ハエ：へー がへーぶー ねふえー



ブタ：うわー



ウシ：うし



ヤギ：ひーじゃー



ウマ：んま



イヌ：いん



ネコ：まやー



ネズミ：えんちゅ
お えーんちゅ
しっぽ：じゅー

ジャコウネズミ
：びーちゃー
が びちゃー



ニワトリ：とうい



スズメ：くらー（ぐわー）
お ゆむるやー
の ちゅっちゅー



ハト：ほーとう



メジロ
：そーみなー
お そーみなーぐわー



ヒヨドリ：すーさー
お しゅーさー



ムラサキカタバミ：やはた

ね やふあた



センダングサ：さしぐさ



ヨモギ：ふーちばー



ホウセンカ

ていーさんぐー

お ちんさぐー

が ちーさんぐー

ね ていんさーぐー

の ちみしらさー



ススキ：げーん

お ぐしちゃー

が げーん・げーなー

ね ぐしちゃーら・
げーん



ブッソウゲ：あかばなー



ゲットウ：さんにな



カタバミ

：にんぶとうちゃー

の みんぶとうかー



サトウキビ：うーじ



ソテツ：すーていちばー

お すっちゃー

が ひちちゃーばー

ね すーちちばー

の すーていーちゃー



モモタマ：くわでいーさー

お くわでーさー



オオハマボウ

：ゆーなんぎー

お かーさんぎー・

ゆーなんぎー

ね の ゆーなーぎー



竹：だき・しまだき



ガジュマル：がじまる



デイゴ：でいーぐ



アカギ：あかぎ



マツ：まーち



野イチゴ

：たかいーちょーびー

お ぬんどうるいちびー

が の たかいちょーびー

ね たかいちゅびー



ビロウ：くば



バナナきの木

：ばさないぬぎー

お ばさー

が ばさない

ね の ばさないぎー

木：きー

はっぱ：はー

ね ふあー

ねっこ：にー

お にー・にーぐい

ひじ

が にー・ひじ

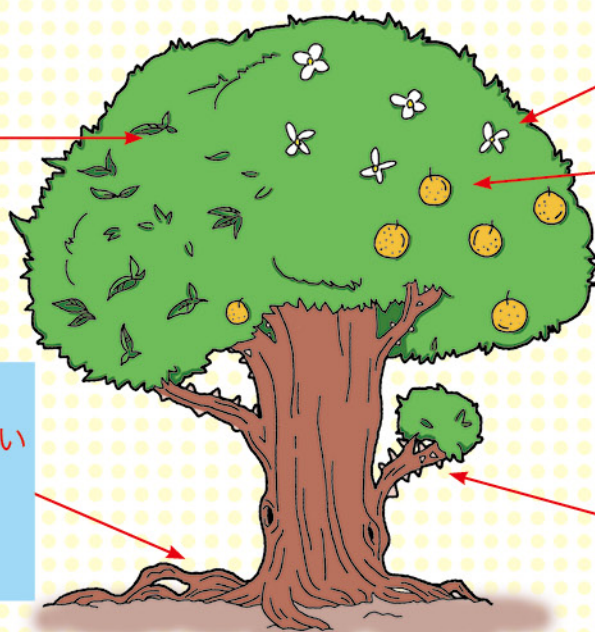
はな
花：はな

み：みー

ね ないぐわー

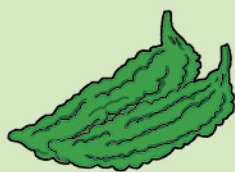
ちい
(小さなみ)

とげ：んじ



野菜：やしえー

が やせー



ニガウリ：ごーやー

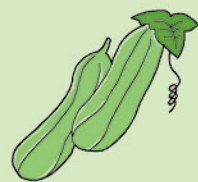


キャベツ：たまなー



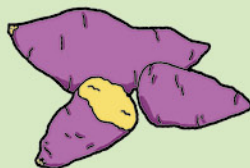
ホウレンソウ：

ふーりんなー

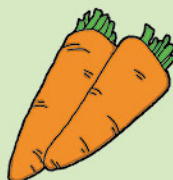


ヘチマ：なーべーらー

が お なべらー
の なびらー

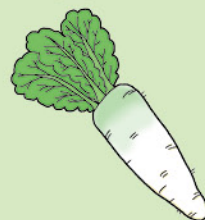


サツマイモ：んむ



ニンジン：ちでーくにー

お ちーれーくにー



カボチャ：でーくにー

お れーくにー

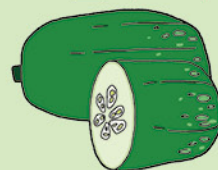


カラシナ：しまなー



カボチャ：

なんくわー



トウガン：すぶい

お しゅぶい

どんなあそびを していたのかな？

みなさんは、ふだん、どのようにしてあそんでいますか？ ここでは、むかしの
人たちがどのようなあそびをしていたのかをしらべてみました。

まーじえー
とうったん！
(バッタを
とった！)



ソテツのはっぱでつくったむし

ねの**むし**いりやー

虫かごには、つかまえた
バッタやセミを入れました。



木のえだでつくったかたな
チャンバラごっこをするあそび。

お たっちえーぐわー

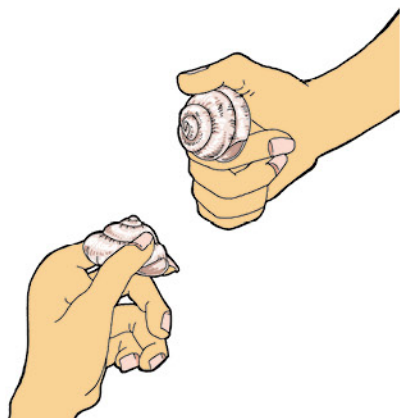


ほかにも、たけ竹をつかってとり
つくった鳥かごを
あそんでいました。

と **ね**の**そー**みなーくー (鳥かご)

お **が**くーいーぐわー (鳥かご)

おなが翁長ではオオハマボウのえだをつかって刀を作っていました。



カタツムリの中心をおしつけあって、カラをぶ
つけるあそび。

ちんなんおーらしえー

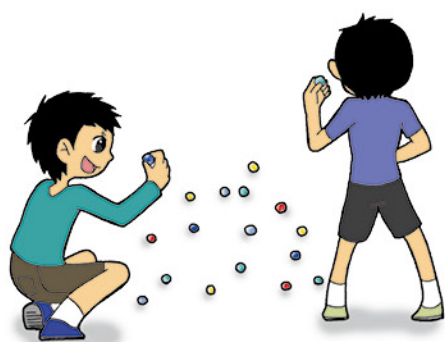
カマキリどうしをたたかわせるあそび。

お とーとうーおーらしえー

キノボリトカゲのくび首をつかまえ、たたかわせるあそび。

お わーとーやーおーらしえー

ほかにも、生きものをたたかわせるあそびがあった。



ビー玉あそび。

と の たまぐわーうちえー

お が たまたっけー

ね たまぐわーあしび

ビー玉を当てて、あい手の玉をとる。

わになったものを、竹やはり金などのぼうで
走らせてきょうそうするあそび。

と が の こーるまー お くーるまー

ね こーるまーまーしえー

翁長で聞いた話では、こわれたに馬車の車り
んをつかうこともあったとのこと。



でいー、しまぐわー
とうっていんだ！
(さあ！すもうを
とってみよう。)

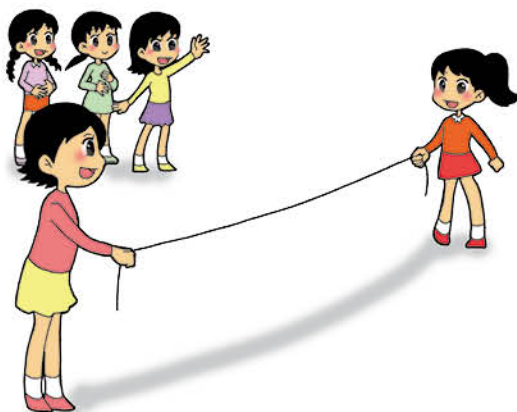
くるしまたは、まーいさーとよばれる力石をもち上げて、力くらべをするあそび。

お くるしむちえー が まーいさーあぎえー ね くるいさーむちあしび

の まーいさーむちー

力くらべをするあそびとして、ほかにも「むーとーぐわー」というレスリングのよう
なあそびや、「しまぐわーとうえー (沖縄すもう)」などをやっていたそうです。

前のページでは、男の子がしていたあそびをしょうかいしました。ここでは、女の子を中心にしたあそびをしょうかいします。



ゴムとび

ゴムひもの高さを1だん・2だんと上げていきながら、その上をとびこすあそび。

とがねのぐむらんとび

おごむらんとび

手もちの小石をなげながら、地めんの小石をひろいあげていくあそび。

いしなぐー



地めんに円をかくて、それをかた足でとんでいきながら、自分がなげた石をとってくるあそび。

とねのけんけんぱー

おがけんぱー



しーがち まーい、
けーらけーら！
いくち けーいが、
ななち けーいさ、
りー あんせー
けーら けーら！

まりつき歌を歌いながら、まりをつくあそび。
左右の足を交ごにあげて、まりをくぐらせます。

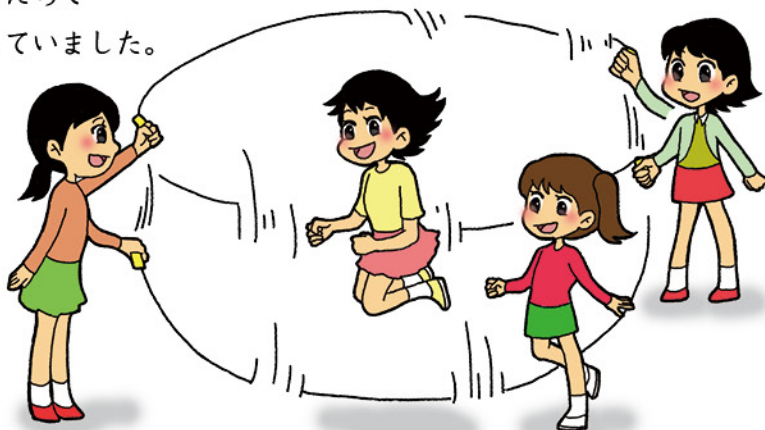
がね まーいうちえー

とおのまりつき



なわとび。なわは、自分たちで
ワラなどをり^{よう}用^つして作^{つく}っていました。

の ちなふえー



おにごっこ

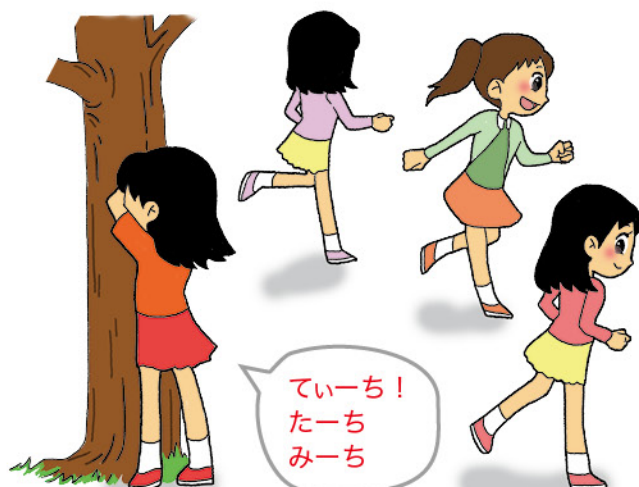
と **お** **の** どうっちかめー
お どうっちかみえー
ね かちやみえー

めかくしおに

お みーくんち

かくれんぼ

と くわっきんぐわー
お かっくえーぐわー
が くわっきんそーり
ね くわっくいーあしび

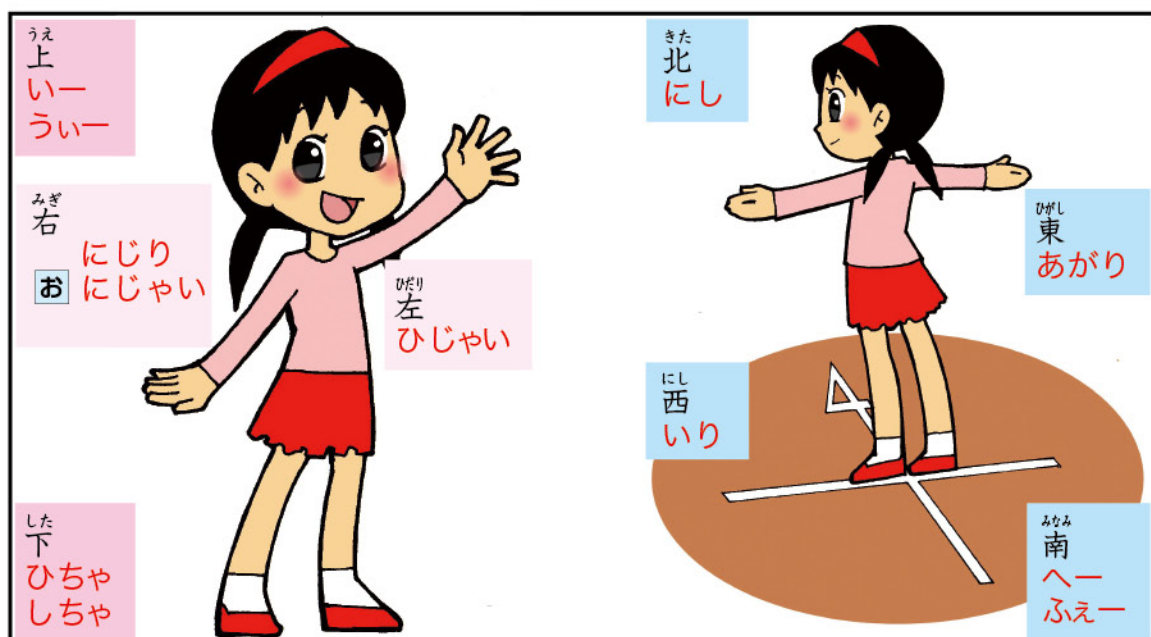
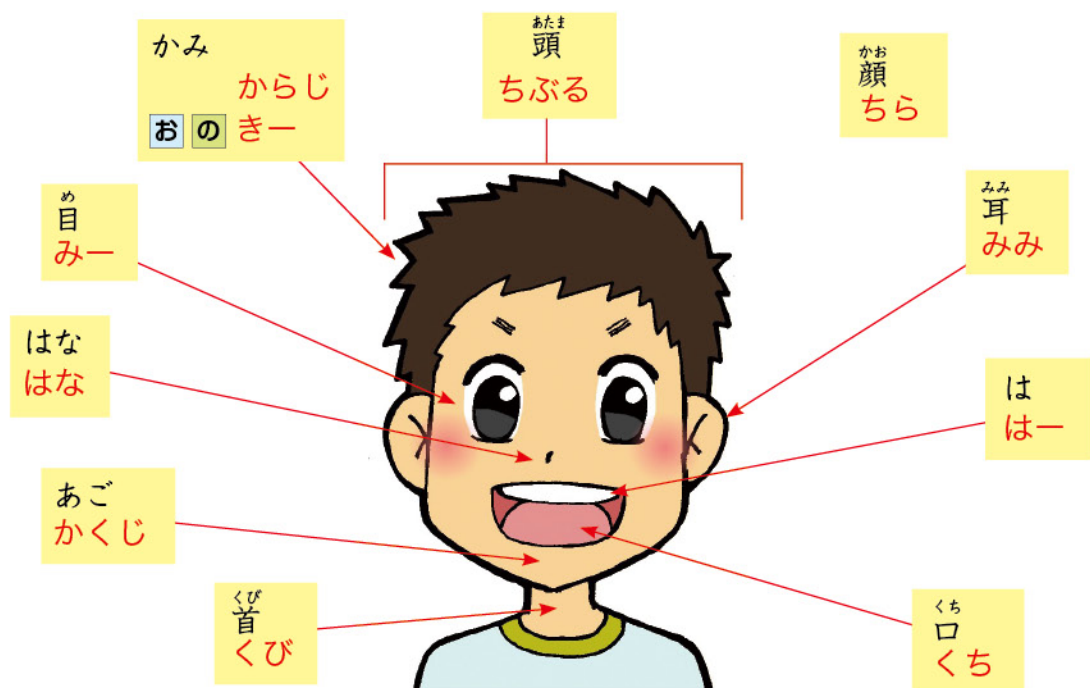


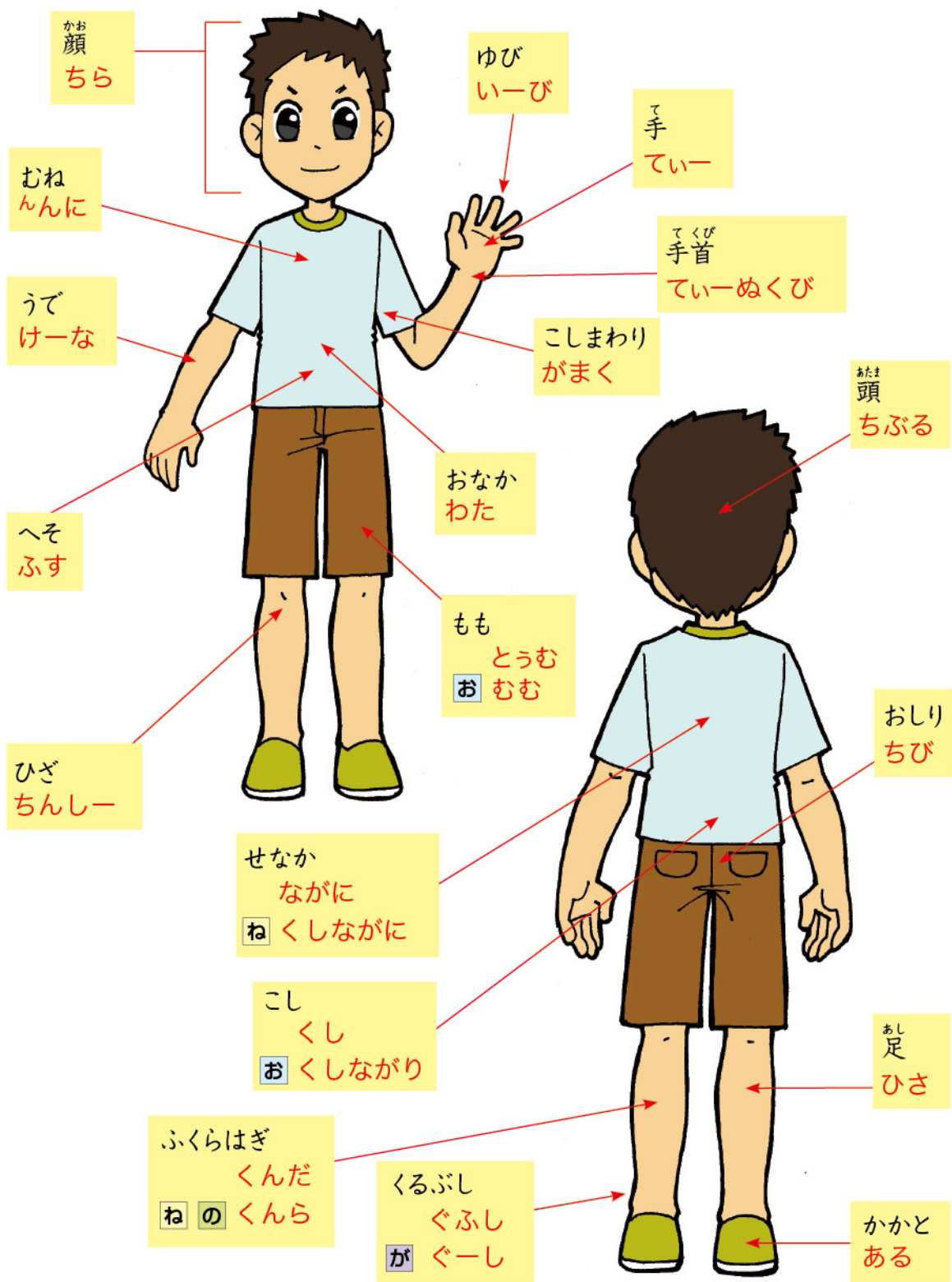
ていーち！
たーち
みーち

からだ
身体をあらわすことば

どーてー いーぬ くとぅば

かお て じぶん からだ
顔や手など、自分の身体をあらわすことばにはどんなものがあるのだろう。





しらべてみよう

ていみぐすく くとうばや うーむっさん

^{おきなわ}沖縄のことばには、おもしろいことばがたくさんあります。^{と み ぐ す く}豊見城では、どんなおもしろいことばがあるのかな。





びっくりしたときに
つかうことばです。

あきさみ(び)よー



ゆんたく

「おしゃべり」のこと。

「ゆんたー はんたー」とも言います。

ちーちーかーかー



食べものが、のどにつまったとき
につかうことばです。



おな 同 じく らいの 年 の 人。

ちるみー。

どうきゅうせい
同級生。

いんとうしなやー。



むしばになった。

むしが はー くわとーん。

みなさんは、人に何か言うときに「あのね、〇〇だよ。」と、「あのね」ということばをつ
かいますよね。そのことばも、地いきによってちがひがあります。

「あのね」 と あぬええいへー が ね あぬやん の あぬやんへー お あぬやー

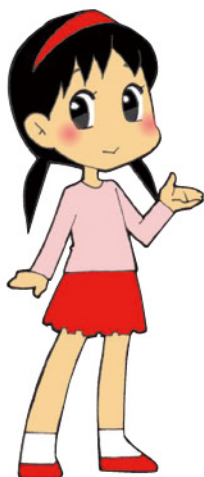
「どこに行くの」 と お が まーけーが ね の まーかいが

「いっしょに」 と まんじょーん お まじょーん が まんじょーん

ね まんじゅん の まじゅーん

おもしろいと思いませんか。もっといろいろなことばをしらべてみましょう。

わたしの家ぞく



みどり

と こんにちは。わたしの名前^{なまえ}は豊見城^{とみぐすく}(地^ちい^{めい}き名)ともうします。
わたしの家ぞくです。

はいさい。わん なーや ていみぐすくんでい いちよーいびーん。
わん やーにんじゅ やいびーん。

お はいさい。わん のーじえー うなが やんどー。
わん やーぐなー やいびーんどー。

が はいさい。わん のーじえー がなは やいびーん。
わん やーにんじゅ やいびーん。

ね はいさい。わんぬ のーじえー みさしっぷ やいびーん。
わったー やーにんじゅ やいびーん。

の はいさい。わん のーじえー ぬーふあんり いちよいびーん。
わったー やーにんじゅ やいびーさ。

か
家ぞく やーにんじゅ

おに
男
いきが
いいきが
ういきが



おじいさん
んめー



とう
お父さん
すー

お しゅー
が ちゃーちゃー

きょうだい
ちよーでー



あきら

あに
兄
あっぴー
お あひー

いもうと
妹
いいなぐうっとう



わたし(みどり)
わん

あね
姉
あばー
お あっぱー

おとうと
弟
いきがうっとう



おんな
女
いなぐ
いいなぐ
ういなぐ

おばあさん
ぱーぱー
お はーめー



かあ
お母さん
あんまー

あか
赤ちゃん
ぼーじゃー
ぐわー
が あかんぐわ





ひいおじいさん
 と ふあーふじ
 お うーんめー
 ね の うふーんめー



ひいおばあさん
 と の はんじー
 お うーはーめー
 が うーぱーぱー
 ね うふーぱーぱー

おじさん・おばさん



おや とうえ
 親より年上のおじさん
 うふーすー
 お うふーしゅー
 が うーちゃーちゃー
 の うふすー

とうえ
 年上
 しーじゃ



おや とうえ
 親より年上のおばさん
 うふんまー
 お が うーあんまー
 ね うふあんまー
 の うふあんまー



おや とうした
 親より年下のおじさん
 うんちゅー

とうした
 年下
 うっとう



おや とうした
 親より年下のおばさん
 ばーちー
 お ばーしー
 ね ばーちーぐわー

いとこ
 いちゆく・いつく

おんな
 女のきょうだい
 ううない



おとこ
 男のきょうだい
 いきー
 いいきー
 ういきー



あさ
朝ごはんは食べた？

ひていみていむのー かりー？



あきら



みどり

おじいさん、早くおきられたんですか。

んめー、へーく うきみそーちー。

お ふえーく うきみそーちー。

あー、早くおきたよ。

いー、へーく うきたんろー。

いまは、おめざの黒とう
を食べているんだよ。

なまー
みーちゅーやー
くるじゃーたーぐわー
かるーんどー。



おじいさん
(んめー)

あさ
朝ごはんだよ。

ひていみていむんどー。

お ひていむとうむんどー。
ね していみていむんどー。

かあ
お母さん
(あんまー)



きょうもおいしそうだね。

ちゅーん まーさぎさんやー。



いっぱいごはんも食べて、早く学校へ行きなさい。

ちゅふあーら むぬん かり、へーく がっこー いけー。

が がっこー いきやん。 **お** がっこーけー いくわ。

ね がっこーんかい いきよーやー **の** がっこーんかい いきよー。



はい。

おー。



おめし^あ上がりください。

うさがんそーれー。

お うさがみそーるわ。

ね うさがみそーれー。

の うさがんそーるわ。

さあ、いっしょに^た食べよう。

とー、まんじょーん かま。

お まじょーん かまな。

が まんじょーん かまや。

ね まんじゅん かま。

の まじゅーん かま。

おばあさん
(ぱーぱー)

どう
お父さん
(すー)

いただきます。

くわっちーさびら。

赤ちゃん
(ぼーじゃー
ぐわー)

とってもおいしい。

いっぺー まーさん。

※「はい」とへんじをする場合、同きゅう生や年下の人には「いー」、親にたいしては「おー」、おじいさんやおばあさんなどには「うー」となります。



もっと^た食べなさい。
なーいん かめー。

おなかいっぱいだ。

わたみっちゃん。

が わたうーさん。
ね の わたみっちょーん。



ごちそうさまでした。

くわっちーさびたん。



ゆのみ^{ちや}茶わん
ちやわん
の ちやーわん

お茶^{ちや}
ちやー

おはし
めーし

ごはん
めー

おしる(おつゆ)
しる

めしわん
めーまかい
お まかい

さら
くざら
ね けーうち

おかず
かていむん
お かたむん

しるわん
しるまかい

◆おじいちゃんおばあちゃんが子どものころ

ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんが子どものときは…。

ひいおじいちゃんや、ひいおばあちゃんが、みなさんと同じ小学生だったころの今から60～80年くらい前は、米のごはんは年に数回かしかなかった。ふだんは、サツマイモを中心にした食だったようです。今のよう、たくさんの食べものがテーブルにならぶことはなかったそうです。

おじいちゃんや、おばあちゃんは、ほかにどんなものを食べていたのかな？



「わたしたちが子どものころは、サツマイモを食べていたんだよ。」

「わったーが わらびそーいねー んむる かるーたんどー。」

「そうだったね。サツマイモを食べて（から）学校へ行ったよ。」

「あんやたんやー。んむる かり がっこー いちゅたんどー。」

「そして、ふろしきにサツマイモと本（教科書）をつつて、学校に行ったね。」

「あんし、うちゅくいーんけー んむとう ほん ちちまーに、

がっこーけー いちゅたんやー。」

◆よくつかうことば

のむ：ぬむん のまない：ぬまん のんだ：ぬらん のんで：ぬり

食べる：かむん 食べない：かまん 食べた：からん 食べて：かり

あそぶ：あしぶん あそばない：あしばん あそんだ：あしらん

あそんで：あしり あそぼう：あしば

◆数をあらわすことば

一つ：ていーち 二つ：たーち

三つ：みーち

四つ：ゆーち

五つ：いちち 六つ：むーち

七つ：ななち

八つ：やーち

九つ：くくぬち 十：とうー

百：ひゃーく

お はーくー

◆色をあらわすことば

赤：あかー

赤い：あかさん

青：おーるー

青い：おーさん

黒：くろー

黒い：くろさん

白：しるー

白い：しるさん

きょうもがんばって^{がっこう}学校へ^い行きなさい

ちゅーん ちばやーに がっこーけー いくわ



行ってきます。

んじ くーいー。

が **ね** んじ くーおー。

行ってらっしゃい。きをつけてね。

んじ くーわ。きーちきりよー。

お んじ くーよー。



はい。

おー。

やあ。きょうは、いい^{てんき}天気だね。

はい。ちゅーや いー うわーちち やんやー。



^{とも}友だち
(るし・どうし)

さあ。いっしょに^い行こう。

りっか。

まんじょーん いか。

お まんじょーん いか。

が まんじょーん いかやー。

ね まんじゅん いかやー。

の まじゅーん いかやー。

そうだね。いっしょに^{ある}歩いて^い行こう。

やんやー。

まんじょーん

あっち いかな。

おはようございます。
きょうもおねがいします。
はいさい。ちゅーん
うにげーさびら。



おはよう。きょうも^{ある}歩いてきたね。
いいことだよ。

はい。ちゅーん あっち
ちえーさやー いーくとうやさ。



がっこう ^{せんせい}
学校の先生
(しんしー)

^{あさ}朝、^{ある}歩くと、ねむけがなくなってい^きい気もちだよ。

ひていみてい あっちーねー、
にーぶい さみてい いーやんべー。

お にーぶいん さんなてい いーやんべー
なとーん。

が にーぶい さんなてい いーやんべーやー。

ね にーぶい さんなてい いーあんべー
なとーいびーん。

の みーちゅーてい いーやんべー やっさー。

きょうもテクテクと^{こう}う校で
がんばっているね。

ちゅーん テクテクと一校^{こう}
ちばとうさやー。

しらべてみよう

きょうのきゅう食は、^{しょく}何^{なに}が^で出るかな

ちゅーぬ きゅーしょこー
ぬーぬ んじーがやー

きょうのきゅう食には、^{とみぐすく}豊見城のやさいがつかわれたものが出るってよ。

ちゅーぬ きゅーしょくんけーや、
ていみぐすくぬ やしえーが んじーんいんどー。



どんなりょう理^り（ごちそう）
かな。

ちゃんぐとぅー
くわっちー やがやー。

まちどおいしいね。

まちかんていー
やー。

あついから、^き気をつけてね。

あちさくとう、ゆーしよー。

お **ね** **の** きーちきりよー。

きょうのきゅう^{しゅく}食は

おいしいから、めし^あ上がれ。

ちゅーぬ きゅーしよこー

まーさくとう、うさがみそーれー。

お うさがみそーるわ。

が うさがんそーるわ。



いただきます。

くわっちーさびら。

ほかほかでおいしいね。

あちこーこーし

まーさんやー。

おなかいっぱい^た食べるぞ。

ちゅふあーら かむん。

お わたんみー かむん。

ね **の** わたぬみー かむん。



しらべてみよう

あいさつのことば

えーさちぬ くとうば

「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」など、ふだんつかっている「あいさつ」にあてはまることばは、「しまくとうば」にはありません。それでは、どのようなことばであいさつをしていたのかな。

こんにちは。きょうもいい^{てんき}天気だね。

やー。ちゅーや いー うわーちち やんやー。

ね いー ていんち やっさー。

どこへ行くの。

まーんけーが。

お まーけーが。

が まーけー いちゅが。

ね まーかい いちゅが。

の まーかいが。

とも
友だち (るし・どうし)

やあ。お兄^{にい}さんの野^やきゅう(の^{あい}し合)があるから、見^みに行くんだよ。

やー。わん いきがしーじゃぬ やきゅーが あくとう
んじーが いちゅん。

がっこう 学校からの帰りがいい。

つかれてないかい。

がっこーから けーいるやるい。
うたとーうらに。

お くたんでいてー うらに。

が うたてーねーに。

ね の うたてーうらに。

こんばんは。しあいまえ 合前なので、がっこう 学校で
れんしゅうをしてきました。

おー。しあいめー やくとう、
がっこーうてい れんしゅうー っし
ちゃーびーたん。

きんじょのおじさん

そうかい。つかれたでしょう。

き 気をつけて帰きなさいね。

やみ。うたてーさやー。
きーちきてい けーりよー。

はい、ありがとうございます。

おー、にへーでーびる。

お にふえーでーびる。

しらべてみよう

きょうも一日、^{いちにち}楽しかったね^{たの}

ちゅーん ひっちー いーるきさたんやー

ただいま。^{いま} ^{かえ}帰ってきたよ。

なまる けーてい ちゃーびんでー。

が **ね** なまる けーたんどー。

の なまる けーてい ちゃんどー。

おかえりなさい。^{いま} ^{かえ}帰ったの。

なまる けーてい ちゃんなー。

が なまる けーていちー。

ね なまる けーていー。

の なまる けーてい ちゅーんなー。



きょうの学校^{がっこう}どうだった？

ちゅーぬ がっこー

ちゃんぐとぅー やたが？

の がっこー ちゃんやたがー？

わたしは、^{さんすう}算数のしゅくだいを^{せんせい}先生にほめられたよ。

わんねー、^{さんすう}算数ぬ しゅくだい しんしーんけー ふみらったんでー。

「ほめられた。」 **が** **ね** ふみらったんどー。 **の** ふみらったっさー。

「ただいま」や「おかえりなさい」という「しまくとうば」はなかったので、かわりに「今、^{かえ}帰ってきたよ。」とか「おそかったね。」などをつかっていました。

きょうは何^{なに}してあそんだ？

ちゅーや ぬーし あしらが？

きょうは、サッカーをしてあそんだ。

ちゅーや、サッカーし あしらん。

わたしはね、えっちゃんといし^{いし}石のお手玉^{てだま}をしてあそんだよ。

わんねーいえい、えっちゃんとういしなーぐし あしらん。

ね まーいうちえー (まりつき)

みどりー、きゅう食^{しき}にマンゴープリンがでていたね。

みどりー、きゅーしょくんけーマンゴープリンぬ んじとーたんやー。

が んじとうたんやー。

お んじとーたらやー。

ね んじとーたんどーやー。

うん。おいしかった。

いー、まーさたん。

しらべてみよう

そのほかにも、豊見城^{とみぐすく}の、うさくもつがきゅう食^{しょくはい}に入っていたのわかった？

うぬ ふかんけー、ていみぐすくぬ、ちゅくいむじゅくい
いっちょーたし わかいていー？

「そのほかにも」

ね うりやか ふかに の うりやっか ふかに



いいや、わからなかった。

いいーいいー、わからんたん。



パンパイヤのいためものがあつたけど、わかった？

あれも豊見城^{とみぐすく}のやさいだよ。

ぱばやーいりちゃーぬ あたしが わかいていー？
ありん ていみぐすくぬ やしえー やさ。



ああ、そうだった。ちょっとにがかったけど、
のこさなかったよ。

あー やたん。いへー んんじゃさたしが
ぬくさんたんどー。

「ちょっと」

ね いふいぐわー の くーてんぐわー





それは、となりのおじさんがつくった
パパイヤかもしれないよ。

うれー、とうないぬ うふーすーが ちゅくてーる
ぱぱやー やがら わからんどー。

やさいをしっかり^た食べないと、大き^{おお}くならないよ。

やしえー うふおーく かまんねー、
まぎー ならんどー。



はい。

すききらいしないでやさいも^た食べます。

おー。むぬぐし さんろーい やしえーん かまびーさ。

「すききらいしないで〜。」

☐ が むぬぐしえー さんろーい

☐ ね むぬぐし さんぐとう ☐ の むぬぐし さんよーい



ほんとう ^た
本当に食べられる？

ふんとー かみゆーすみ？



しらべてみよう

みせ か い
お店に買いものに行く

まちやぐわーんけー こーいむんしーが いちゅん

きょうは、
なにを買いに行くの？

ちゅーや、ぬー
こーいが いちゅが？

そうだね、のみものと
しおを買いに行く。

やさやー、
ぬみむんとう まーす
こーいが いちゅん。

わたしのおかしも
買ってちょうだい。

わん くわーしん
こーてい とうらせー。

うん、わかった。
んー、わかたさ。

ごめんください。
ちゃーびらさい。

いらっしやい。
めんそーれー。



きょうは、サンピン茶と
しおを買いますね。

ちゅーや サンびんちゃとう
まーす こーやびら。

きょうは、なにを何を買いますか？

ちゅーや、ぬー こーいみせーが。

「なにを何を買いますか？」

が ぬー こーいみせーが？

の ぬー こーみしえーが？

ね ぬー こーいが めんそーちゃが？

うん、わかっているよ。
すきなものをとってきてなさい。
ただし、ひとつだけだよ。

んー、わかとーさ。
ましやしから とうってい くーわ。
やしが、ていーちる やんどー。

わたしのおかしもだよ。
わん くわーしん
やんどー。

よかったね。

ばちくわたんやー。
の いーるきさらやん。

はい。
おー。

あのたなに、おかしがならんで
いるから、えらんできたらいーよ。
あぬ たなんけー くわーしぬ
ならどーくとう、いらりくーわ。

おいくらですか。
ちゃっさ やいびーが。

ぜんぶで、^{せんえん}千円だよ。ありがとうね。
むるさーい しえんえん やさ。 にふえーどー。

しらべてみよう

おきなわ
「沖縄アウトレットモール・あしびなー」へ
やまやま
八重山のいところをつれて行った

アウトレットケー ええーまぬ いちゆく そーてい んじゃん

きょうは、どこへ行こうか。
ちゅーや、まーんけー
いちゅが。

か 買いものに行きたいね。アウトレットはどうか。
こーいむんしーが いちぶさんやー。
アウトレットや ちゃーやが。



そうだね。それでは、お父さんにつれて行ってくれるよう、たのんでみようか。
やんやー。あんしえー おとーんけー そーてい んじ とうらし んち
たぬでい んじゅみ。

しらべてみよう



ありがとうございます。大きいな。
にへーでーびる。まぎー やっさー。

ついたよ。そこがアウトレットだよ。
ちちゃんどー。うまが
アウトレット やさ。



いっしょに^{まわ}回ろう。
まいごにならないようにね。
まんじょーん まーら。
ぱぱっくん^{まわ}なよー。
「いっしょに^{まわ}回ろう。」
ね まんじゅん みぐらやー。
の まじゅーん まーらやー。

はい。
おー。



まん こ みずどり
漫湖水鳥・しっ地センターへ行く

まん こ みずどり 漫湖水鳥・しっちセンターけー いちゅん

かか^{かた}りの方^の
言^いうことを
まもるんだよ。

かか^{かた}りぬ ちゅぬ
いーぬ くとぅ
ゆーちきよー。

せんせい おお こえ はなし
先生が大きな声で話をなさっています。

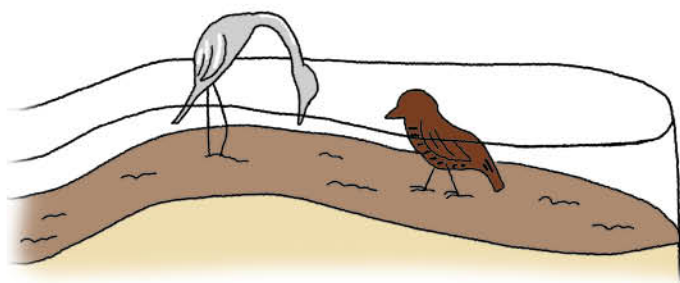
しんしーが うふぐいーし はなし そーみせーん。
「大^{おお}きな声^{こえ}で〜。」

が お まぎぐいーし



あちこち^いに行^いったりしないように。

あまはい くまはい すなよー。



みんなしずかに、ジオラマのもけい^もを見^みているよ。

んーな しじかに、ジオラマぬ もけい んちょーんどー。



こんどは、上（テラス）にのぼるよ。

くんどー、やーぬ いーんけー ぬぶいんどー。
 の いいーんかい ぬぶいんどー。

「いちばんうえ（テラス）に上がるよ。」

ね いちばん わーびんかい あがいさやー。



いろいろな水鳥たちがいる。

いるんな みじどういが うーん。

きれいだね。

ちゅらさんやー。



べん当の時間です。

どれもおいしそうですね。

べんとーぬ じぶん やいびーん。
 ありんくりん まーさぎさんやー。



あした かい てん き
明日はうんどう会， いい天気になるといいな

あちゃーや うんどーくわい，
いー うわーちち なれーやー

あれ！うちの子ども**ばん**だよ。

あいひやー，
わったー わらびぬ **ばん**やさ。

がんばれ。

ちばりどー。



おお、**はや**い。**はや**い。

おー，**へー**さん **へー**さん。
よくやった。**ばん**一**ばん**になったよ。

ばんちくわーちゃん。一**ばん** なたんどー。

うんどう会の**しゅ**目には，どんなものがあるかな。

「かけっこ」 **あ**っちすーぶー **お** あっちしゅーぶー

ね あっちすーぶー・はーえーしゅーぶー

「つな**ひ**引き」 ちなひち 「ぼうたおし」 ぼーとーせー **ね** **の** ぼーとーしえー

「き**ば**せん」 んまとーせー **お** **が** んまぐわーうとうせー

ね **の** んまぐわーうとうしえー

つぎは、つな^ひ引き。
わたしたちの出番^{でばん}だ。
つげー、ちなひち。
わったー ばんやさ。



それでは、
い
行ってくるよ。
あんしえー、
んじ くーいー。



お父^{とう}さん、がんばってよ。
おとー、ちばりどー。**が** ちゃーちゃー、ちばりよー。
ね すー、がんばりよー。**の** おとー、いじんじりよー。



あーあ、まけちゃった。
あきさみよー、
まきたるむん。



しらべてみよう

とよさき こうせん みやざきけん とも ない
豊崎にじ公園へ宮崎県のなだちをあん内する

とよさき こうえん 豊崎にじ公園けー みやざきけん 宮崎県ぬ
るしんちゃー うんちけーすん

豊見城市は、宮崎県三郷町および高千穂町と姉妹都市になっています。宮崎県からきた子どもたちを、豊見城市の子どもたちがかんこう地をあん内しました。

にじ公園^{こうえん}には、たくさんゆうぐがあるよ。

にじ公園^{こうえん}けーや おほーく
ゆうぐが あんどー。



あそぶのがたくさんあるね。

あしぶし おほーく
あんやー。
「たくさん」

が の うふおーく



わたしはね、ここでいっぱいあそびたい。

わんねーいえい、くまうてい
いっぺー あしびぶさん。

「わたしはね」

お が ね の わんねー



あれも、たのしいよ。
ありん、
うーむっさんどー。

よし、バスケットチームを作^{つく}ってし^あ合をしよう。

だー、バスケットチーム　ちゅくてい　しあいさ。



しらべてみよう

とよさき 豊崎のビーチで、こうちけん 高知県のなだちと およぎ いく。

とよさき 豊崎め ビーチうてい こうちけん 高知県め るしんちゃーとう いーじーが いちゅん。

なつやす 夏休みには、こうちけん と さしみずし ちゅうがっこう 高知県土佐清水市の中学校からも、お友達 とも がやってきました。みんな、とよさきかいりんどうえん 豊崎海浜公園の とよさき 豊崎美ら SUN ビーチをあんない 案内して、いっしょにおよぎました。



とよさき おお 豊崎には、大きなビーチがあるよ。
とよさき 豊崎んけーや、まぎさる
ビーチめ あんどー。

じんこう ここは人工ビーチだから、
あんしんしておよげるよ。
くまや じんこう 人工ビーチ
やくとう くくるやしく
いーがりんどー。

とっても おお うみ 青い海で、きれいだね。
いっぺー おーさる うみ
ちゅらさんやー。

き 気持ちがよくなるね。
くくるむち ゆたしくないんやー。

よし、いっしょにあそこまでおようごう。
とー、まんじょーん
あままでい いーがな。



と み ぐ す く め い ば
豊見城のゆう名な場しょをしらべてみよう

ていみぐすくめ なーうっちょーる とうくま しらびていんだな

わたしたちのすむ豊見城市は、700年くらい前から古い記ろくがのこっている
地いきです。ですから、古い時代につくられた名しょや古いたてものが数多くの
こされています。



1522年、当時の尚真という王さまが、国の大じな場しょである首里
城や那覇港をまもるためにかけたはしが真玉橋です。

1522にん、うんとうちぬ うすがなしーめー
しょーしんおーが、くにぬ かなみぬ すいぐしく
なーふあ んなとう まむいん たみに かきてーる はし
やいびーん。

真玉橋は、さいしょは木でつくられていました。しかし、台風や大雨がふると、こわ
れてながされてしまうため、石のはしにつくりかえられました。そのときのかないいお話
が、「七色元結」として、今につたわっています。

ここが真玉橋のはしだよ。

うまが まだんばしぬ はし やんどー。



車が多いね。

くるまぬ
うーさんやー。



むかしは、馬と人だけが
通っていたんだけどね。

んかしえー んまとう
ちゅ びけーんが
あっちょーたしがやー。



おばあちゃん。
あれは何ですか。

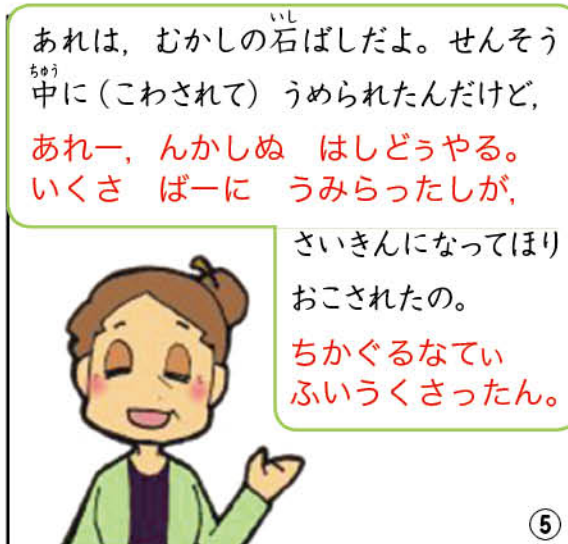
ぱーぱー。あれー
ぬー やいびーが。



あれは、むかしの石ばしだよ。せんそう
中に（こわされて）うめられたんだけど、
あれー、んかしぬ はしどうやる。
いくさ ぱーに うみらったしが、

さいきんになってほり
おこされたの。

ちかぐるなてい
ふいうくさったん。



すごくりっぱですね。

いっぺー
じょーとー
やいびーんやー。



うめ^た立て^うによって^{あら}生まれた新しいまちです。

いま^{こうえん}は、公園やビーチなどがつくられています。

うみたて^{こうえん}いてい ちゅくらっとーぬ みーさる まち やいびーん。

なまー、公園 ビーチとうか つくらっとーいびーん。

とよぎ
豊崎



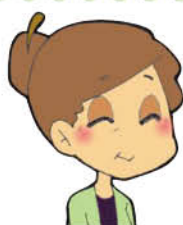
とてもおもしろいあそび場^ばしょだよ。

いっぺー うーむっさる
あしびどうくま やんどー。



じもと^{ひと}の人だけでなく、かん^{こう}光きゃくもたくさんいらっしやいますよ。

しまんちゅ びけーや あらん、
かんこーきゃく おほーく めんしえーんどー。



とみぐすく 豊見城のはじまりのでんせつがのこっているしまで、^{かいちゅうどう}海中道ろがとお通っているよ。

ていみぐすくぬ はじまいぬ ちてーばなし んくとーる
しま、うみぬ なーか みちが とぅーとんどー。



せん後、^{べい}米ぐんき^ち地となっていました、^{いま}今ではかえされて
けんみんのい^ちこいの地となっています。

いくさぬ あとう、アメリカーぬ ちかとーたしが、
なまや けーさってい しまんちゅぬ たぬしみどくる
なとーいびーん。

しらべてみよう

サトウキビのことをしらべよう

うーじぬ くとぅ しらびていんだな

豊見城市ではやさいが多くつくられています。むかしは、サトウキビがさかん
にさいばいされていました。今から700年くらいむかし、長嶺按司という人が、
さとうの作り方を沖縄へつたえたという話もあります。

いま 700 年 くらいむかしの人で、長嶺按司という方が
いらっしゃいました。

なまから 700 ねん くれー にかしん ちゅに
長嶺按司でい いゆる ちゅが めんせーびたん。



どのような人だったの？
ちゃんねーる ちゅ
やいびーたが？



さとうきびから、さとうを作る方ほうをみんなに教えたという
つたえ話がある人だよ。

うーじから、さーたー ちゅくいる しかた、んなんけ一
ならーちゃんり ゆる ちてーばなしぬ ある ちゅやさ。



ふ〜ん。りっぱな人だね。

やんー。りっぱな ちゅ やんやー。

ウージぞめ

豊見城市のとくさんぶつには、サトウキビのはっぱやくき・
ほをり用したウージぞめがあります。

みどりや黄色などにそめられた糸で作られるおりものです。



わー。きれい。

わー。ちゅらさんやー。

そうですね。

ウージぞめのテーブルセンターだよ。

あんやらやー。うーじぞめぬ
テーブルセンターやさ。



どこで買ったの？

まーうてい
こーていちゃが？



豊崎にウージぞめきょう同組合があって、そこで売ってるよ。

とよさきんけー うーじぞめ きょーどー組合ぬ
あてい うまうてい うとーん。



わたしも見に行きたいな。

わんにん んじーが いちぶさん。

そこでは、作っているところも見ることができる
そうだよ。

うまんじえー、ちゅくとーる とうくるん
んじゅる くとぅ ないんでいー。



こんど、友だちと見に行きたい。

お母さんつれていってくれない？

くんどう、るしんちゃーとう んじーが いちぶさん。
あんまー そーてい んじ とうらさんなー？

とみぐすく
豊見城のおまつりはおもしろい

ていみぐすくめ ひちびぐとうや うーむっさん

豊見城市には、どのようなおまつりや行じがあるのでしょうか。シーミー（清明祭）やきゅうぼんなどもありますが、地いきごとに行われているおまつりや行じもあります。



たかやす
高安には、12年^{ねん}にいちど「ガンゴー祭^{さい}」というまつりが
あります。

たけーしんけーや、じゅーににんに いっくわい
「がんごー」でいーる ひちびぐとうめ あいびーん。



300年^{ねん}になるれきしがあります。

さんびやくにん ないる
ゆーちじぬ あいびーん。



「ガン」というのは、なくなった人をおさめるひつぎを
はかまでおつれするみこしのことです。

「がん」でい いーしえー、まーちやる ちゅ
うさみーる くわんちえーばく はかまでい
うんちけーする みくしぬ くとう やいびーん。



びん まいとし がつ にち ほうねんさい おこな
保栄茂では、毎年きゅうれきの8月15日には、豊年祭を行っています。

ほうねんさい
豊年祭では、どのようなことをおこなっているのかな。

ほーねんさいうてい、ちゃんねーる
くとう うくなとーがやーやー。



みちじゅねー (行れつ・パレード)

保栄茂の人たちは、それぞれきれいなしよ
うをきて、村ばたを先頭に行れつを行います。

びんぬ ちゅぬちゃーや、なーなーめー
ちゅらすがいし、むらばた
さちなさーい すねーい
そーいびーん。

(※ 白いお顔のミルク(神様)がさんか
するのは、6年にいちどです。)

まちぼー (ぼうをつかったえんぶ)

6年にいちど、中学生から59才
までのけんこうな男の人たちがさんかします。

るくにんに いっくわい、
ちゅーがくしーから ぐんじゅーくー
までいぬ さらばんじぬ
いきがんちゃーが するてい
そーいびーん。



ちなひち (つな引き)

東と西に分かれつなを引く。つな引きの前
には、さむらいのいしょうをきたシタクもさん
かしています。

あがりとう いりんけー わかりてい、
ちな ひちゅん。ちなひちぬ めーや、
さむれーすがい そーる したくん
するてい そーいびーん。

シタク (支度)：まつりのときに、ぶしのいしよ
うをきて、台の上のひにのる人。

と み ぐ す く さ く
豊見城ののう作もつ

ていみぐすくぬ ちゅくいむじゅくい

豊見城市は、むかしからのうぎょうのさかんなところですよ。むかしはサトウキビ、
今は、やさいやビニールハウスを活用したのう作もつのさいばいがおこなわれて
います。



と み ぐ す く さ く
豊見城ののう作もつは

たくさんあるよ。

なに 何があるのか、しら 調べてみよう。

ていみぐすくぬ

ちゅくいむじゅくい おほーく
あんどー。ぬーぬ あがやー、
しらびてい んだな。



と み ぐ す く し おきなわけんない
豊見城市でつくっているトマトは、沖縄県内のおよそ60パーセントをしめています。

ビニールハウスでさいばいされています。



なま だ 生で出すだけでなく、ゼリーなどのかエひんもつく 作られています。

うぬまま んじゃする びけーんや あらん、ゼリーとうか
かこーひぬん ちゅくらっとーいびん。

と み ぐ す く し に し し も た ば る
豊見城市の西がわには、「志茂田原」という
へい野があります。沖縄でもゆう名な
やさいのさんちです。

ていみぐすく いりむていや、
「しむたばる」んでい いゆる ひらていーる
みーぬ あいびーん。
うちなーうていん なー うっちょーる
やしえーぬ さんち やいびーん。



トマトややさいばかりではありません。

たまーとー やしえーびけーんや
あいびらん。



マンゴー作りもさかんに
おこな
行われています。

マンゴーぢゅくいん
いっぺー うくなとーい
びーん。



マンゴーは、大切に
つく
作っているんだよ。

マンゴーや、ていーしちに
ちゅくとうんどー。



おきなわけんない
沖縄県内だけじゃないよ。
けんがい
県外へもおくられています。

うちなーびけーや あらん。
やまとうんけー
うくらっとーいびーん。



マンゴー^{おうこく}王国ですね。

マンゴーおーこくどう
やいびーんやー。

よくわかっているね。さあ、^た食べてくれ。

ゆー わかとーさやー。
うり、かり とうらしえー。



とってもおいしいね。

いっぺー まーさんやー。



まんじろう がなり おなが
ジョン万次郎の語（翁長）

ジョンまんじろー むめがたい

ジョン万次郎という人がいます。れきしの教科書にのっているほどのゆう名な人です。そのジョン万次郎が日本へ帰ってきたときに、沖縄の豊見城にもやってきました。ジョン万次郎は、豊見城でどのような生活をしていたのでしょうか。



この人が、ジョン万次郎という人です。

くぬ ちゅが、
ジョンまんじろーんでいーぬ
ちゅ やいびーん。



豊見城とジョン万次郎

ジョン万次郎は、土佐（今の高知県）に生まれました。ある日、土佐でりょうしをしているときに、あらしにあってながされてしまいますが、アメリカの船にたすけられてアメリカへわたります。その数年後に日本へ帰ってきて、日本で英語を教えたり、明治になってからは大学の先生にもなった人です。

沖縄へきたジョン万次郎は、豊見城翁長の高安家で半年間にわたって生活していました。翁長の人たちとは、なかよく楽しくすごしていたと言いつたえられています。日本へ帰るときには、「しまくとうば」をつかって土地の人たちにおわかれのことばをつたえたとのことです。ジョン万次郎も、翁長の人ことはわすれないと書いています。

いま 今から、およそ 170 年ほど前

※ここでは地元の翁長ことばであらわしています。

あれが、ジョン万次郎という人
かもしれないね。

ありが、ジョンまんじろーん
でいぬ ちゅ やいがすら
わからんやー。

ちがうよ。あれは、外国人じゃないよ。

あらんどーわ。あれー
うらんだー あらんしえー。

ジョン万次郎は、日本人なんだよ。

ジョンまんじろーや、
やまとうんちゅる やんどー

そうだよ。日本人なんだよ。

やんどーわ。
やまとうんちゅ やさ。



ほら、出てくるよ。

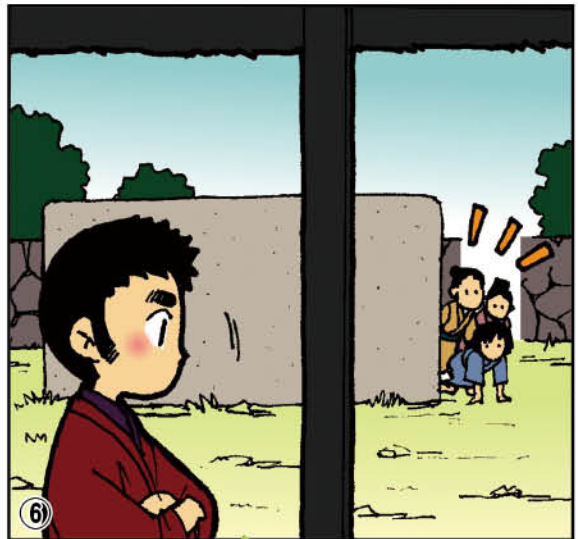
大へんなことになった、にげろー。

あね、んじてい ちゅーんどー。
でーじなとーん、ひんぎれー。

なん
何と言っているんだろう。
はし
話をしたいのだが。



どんな顔^{かお}をしているのかな。見てみたいね。
ちゃんねーる ちら そーがやー。
んじ ぶさんやー。

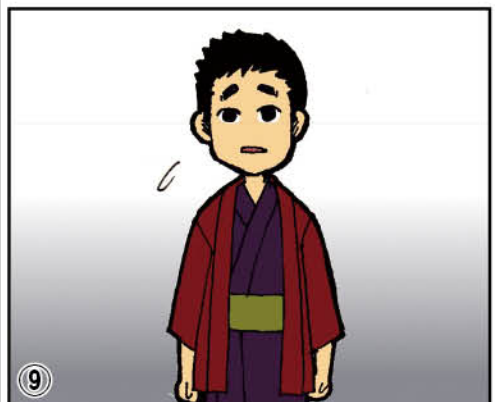


きょうも、こどもたちがき^き来ている
なあ。どうすればいいのかな。



たいへんだ。
でーじなとーん。

て
出てくるぞ。にげろ。
んじてい ちゅーんどー。
ひんぎれー。



きのう ^み見たときには、
^{ひと}いい人みたいだったよ。

ちぬー んちやる
とうちねー、いー っちゅ
やいぎさー やたんどー。

そうだね。いい人^{ひと}のように思うよ。

やさ。いー っちゅ ぐとぅーる
うむいんでー。



ハロー。
コンニチハ。



なん ^い何て言ってるの?

ぬーんでい いちよーがやー。



きょうは、いい天^{てん}気^きに
なったね。

ちゅーや、
いー うわーちち
なとーんやー。



はい。いい天^{てん}気^きですね。

うー。いー うわーちち
やいびーんやー。



こんにちは。わたしはジョン^{まんじろう}万次郎と
います。アメリカからきたよ。

はいさい。

わんねー、ジョンまんじろーんでい
いちょーやびーん。

アメリカから ちゃんどー。



こんにちは。アメリカというのは、
どこにあるのですか。

はいさい。アメリカんでい
いーしえー、まーんけー
あいびーがやー。



アメリカというのは、^{とお}遠く^{うみ}の海のはて
にある^{くに}国なんだよ。

アメリカんでい いーしえー、
かーま^{くに}うみぬ はていんかい
ある 国どう やんどー。



そこから、^{ふね}船でこの琉球^{りゅうきゅう}に
やってきたんだよ。

あまから、ふにさーに
くま るーちゅーんかい
ちゃんどー。





すごい人だね。

うすまさる ちゅ やんやー。



ジョン万次郎は、子どもたちとなかよくなったんだって。そして半年がすぎ、みんなとおわかれの日がやってきた。

ジョンまんじろーや、わらばーたーとう いーなかなたんり。あんし はんとうし あまいなてい、んなとう わかりーる ひーぬ ちゃん。

おやこうこう 親孝行するんだよ。

うやんけー こーこーしよー。



はい。

うー。

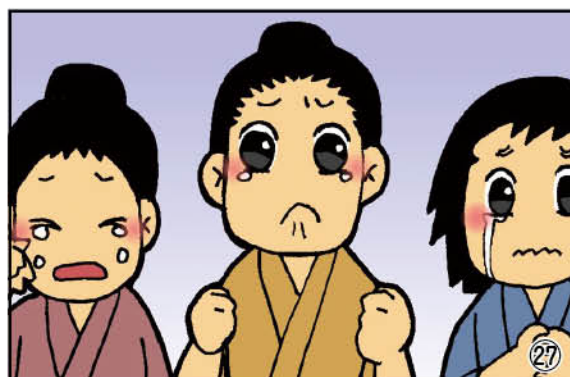
もう行く時間になってしまったなあ。

なー、いちゆる
じぶん なとーさやー。



ずっと元気であるだよ。

ちゃー がんじゅー そーきよー。



おらびと 村人とわかれるとき、万次郎は
しまくとうばで
あいさつをしたそうです。

しらべてみよう，わたしたちの「しまくとうば」

しらびていんだな， わったー しまくとうば

これまで，いろいろな「しまくとうば」を^よ読んだり^き聞いたりしてきました。ほかに，どんな「しまくとうば」があるのでしょうか。おじいさんやおばあさんなど，まわりの^{ひと}人から^き聞いてみるといいですね。

ふだんつかうような，かんたんな「しまくとうば」のあいさつことばを，じっさいにつかってみることが^{おし}大切ですね。



しらべてみよう

この本^{ほん}に出^でてきた「しまくとうば」

さ く い ん

わからないことばは、
このページからしらべてみよう。
わからん くとうばや
うまから しらびていんだ。

そうだね。
やんやー。

